

# ビッキーを偲んで 高川山

実施日 2012年2月11日(土)

天候 晴れ

リーダー 鈴木 恵美子

参加者 齋恵美子、渡辺清、若村勝昭、  
一柳昭、山口駿三、福島政幸、  
涌井良明、島本陳重、鈴木恵美子、  
石附智江、遠井謙策、伊藤久雄、  
岩崎陽子、石原勝正、宇野輝代、  
古川美恵子、小名秀鋭 計17名

費用 1,480円(高尾起算)

タイム 初狩駅(9:00)男・女坂分岐  
(09:55・10:05)男・女坂合流点  
(10:38)高川山(11:00・11:45)  
田野倉・禾生分岐(12:40)林道  
(13:13)中谷集落・稲村神社  
(13:20・13:35)田野倉駅  
(13:55・14:03)

データ 行動時間 4時間55分

積算距離 6.87km

総上昇量 578m

移動平均速度 3.1km/h

駅前の初狩郵便局の角を右折し、細い車道に行く。曲がり角のそこかしこに標識がある。やがて、樹林帯に入り、寒場沢を渡る。初狩出身の作家、山本周五郎と寒場沢にまつわる話を紹介した説明板が立っ



は男坂に行く予定だったが、人数も多く、道が凍っているのを、女坂に行くことにする。やがて右手から上がってきた沢コースと合流。急登のため、所々にロー

プがある。雪が結構残っていて滑りやすいので、雪のない場所を選んで、慎重に登る。間もなく男坂と女坂の分岐に出る。最初

プがある。木々の間から美しく雪を被った富士山が見える。男坂からの道と合流。金網を右に曲がると20分程で高川山山頂に着く。晴天に恵まれ、登山者が多い。さすが、大月市の「秀麗富嶽12景」に選ばれるだけのことはあり、三ツ峠と杓子山を両翼に従えた、真っ白に雪化粧した富士山が素晴らしい。遠くには甲斐駒ヶ岳が顔を覗かせ、360度の展望が得られた。誰が作ったのか、「ビッキー」と書かれた木箱に、10年



ほど住んでいた犬のビッキーの写真集や登山者の書き込みをしたノートがしまっており、山梨日日新聞記事の切り抜きも貼ってある。登山者に愛されたビ

ッキーの思い出を偲ばせてくれる。のんびり昼食を取った後、山頂から「田野倉方面」と書かれた標識に従う。最初は急斜面で、少し凍っていて緊張する。鮮やかな緑色の山繭(およそ美しくない蛾になる)を発見、山繭の鑑賞も兼ね休憩。むすび山への道を分け、東に緩やかに下る。やがて、林道に。稲村神社で尾形資料館の説明を聞いてから田野倉駅まで20分程で到着。



心残り、ビッキーのお墓を見落としてしまったことで、次の機会があれば、お墓参りもしたいと思います。先輩リーダーの方々、サポートありがとうございました。参加してくださった皆さん、どうもありがとうございました。

(記・鈴木 恵美子)

(写真提供・涌井良明／伊藤久雄)